

語り合う文学教育の会 第11回大会

3月2日(土)午後1時～5時半

三重大学教育学部1号館4階教室

☆全体会場 403教室（4階南西の角です）

午後1時～受付

午後1時半～ 会員総会（決算・会務報告など）

午後2時～ 第11回大会

講演「描写を読むための基礎力」

藤原和好会長

☆分科会 4階各教室（午後2時45分～5時半）

はたらく じどう車 （東書1年）	鈴木 啓史さん （奈良）
一つの花 （光村4年）	原田 聡子さん （三重）
やまなし （光村6年）	中西 祐司さん （三重）

機関誌『語り合う文学教育』11号も発刊されます。今年度号も、さまざまな理論的探求と豊かな実践報告が満載です。会員でない方もどなたでも参加いただけます。たくさん来てください。ちょっとのぞいてみようという方も大歓迎です。機関誌代500円をいただきますが、参加費は無料です。

1月の奈良例会では、鈴木啓史さんが「はたらくじどう車」の教材研究を発表しました。8名の参加でした。新年会もしました。

三重例会は、日下英子さんの「ちいちゃんのかげおくり」の実践報告でした。いつも

ながらの、子どもの思いがよく分かるていねいな取り組みを聞きました。11名の参加でした。

2月の三重大学附小の公開研の国語4分科会にはのべ200名ほどの参加がありました。

2月には奈良例会も開きました。鈴木さんの大会での実践報告を検討しました。参加は5名でした。

No pasarán

昨年末の総選挙の結果、再び安部内閣が成立しました。会員のみなさんのお考えはさまざまですが、わたし（橋本）は彼の前政権時代に教育基本法が改悪されたことを忘れるわけにはいきません。日本中の学校・学級、子ども生徒を序列化する全国学力学習状況調査もその時のルールの上を走っています。

当時、その旗ふりをつとめた「教育再生会議」が、名前を「教育再生実行会議」と変えて復活しました。例によって、教育研究者が一人もいない「教育」会議です。

今年の1月24日、最初の会議で安倍総理は次のようなあいさつを述べています。官邸のホームページで見ることができます。

教育再生は経済再生と並ぶ、日本国の最重要課題であります。もちろん、安倍政権にとりましても最重要課題であります。「強い日本」を取り戻していくためには、日本の将来を担っていく子供たちの教育を再生することは不可欠でございます。教育再生の最終的な大目標は、世界のトップレベルの学力と規範意識を身に付ける機会を保障していくことでもあります。

第1次安倍内閣においては、約60年ぶりに教育基本法を改正し、教育の目標として、「豊かな情操と道徳心を培うこと」、「伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うこと」などを明確に規定をいたしました。また、教育再生会議においては、社会総がかりで教育再生に係るための方策を議論し、改正教育基本法を実現するための学校教育法など「教育三法」の成立や約40年ぶりの

全国学力学習状況調査の実施などを結実させたところでございます。

しかしながら、その後の教育現場は残念ながら、改正教育基本法の理念が実現したとは言えない状況にあります。いじめ・体罰に起因して子供の尊い命が絶たれるなど痛ましい事案は断じて繰り返してはならないと思います。私は教育再生に取り組む決意を新たにして、第2次安倍内閣において、下村文部科学大臣に教育再生担当大臣を兼務させ、内閣を挙げて教育再生に取り組む体制を整えたところでございます。

私が主催する教育再生実行会議では、教育再生の実行を強力に皆様と共に進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

子どもと教育の危機が、この人たちにとっては成果なのだということがよく分かります。

現在の教育をめぐる情勢で、もう一つの大きな危険要素は、大阪と東京で教育の公共性を乱暴に踏みこじってきた「維新の会」勢力が、一定の勢力を国会でも占めたことです。

大阪では、市立高校のクラブ活動での体罰に起因すると思われる高校生の自死をめぐる、強引な政治介入が行われました。これまで一定の体罰的指導はスポーツには必要だとしていた橋下市長は「考えを改めた」と反省して見せましたが、当の高校には自らの手による立て直しを認めず、全員配転などと息巻いています。体罰を容認してきたことが許されないのはもちろんですが、この論法なら橋下市長が真っ先に配転される（辞職する）べきです。

そもそも、それぞれの高校に特色を出せ、個性化を進めろと言ってきたのは行政側です。特色を打ち出せば打ち出すほど、その「結果」が目に見える形で求められました。スポーツや芸術分野では全国大会などでの順位、進学校では有名大学への進学率、それらが数値として求められたのです。これがどれほど本来の高校教育をゆがめ、高校生を傷つけたことか。その責任に口をつぐんでいるのは卑怯としか言いようがありません。

わたしは、何度も言いますが、普通の学校（Common School）という言葉で、教育の公共性をとらえなおさなければならないと思います。